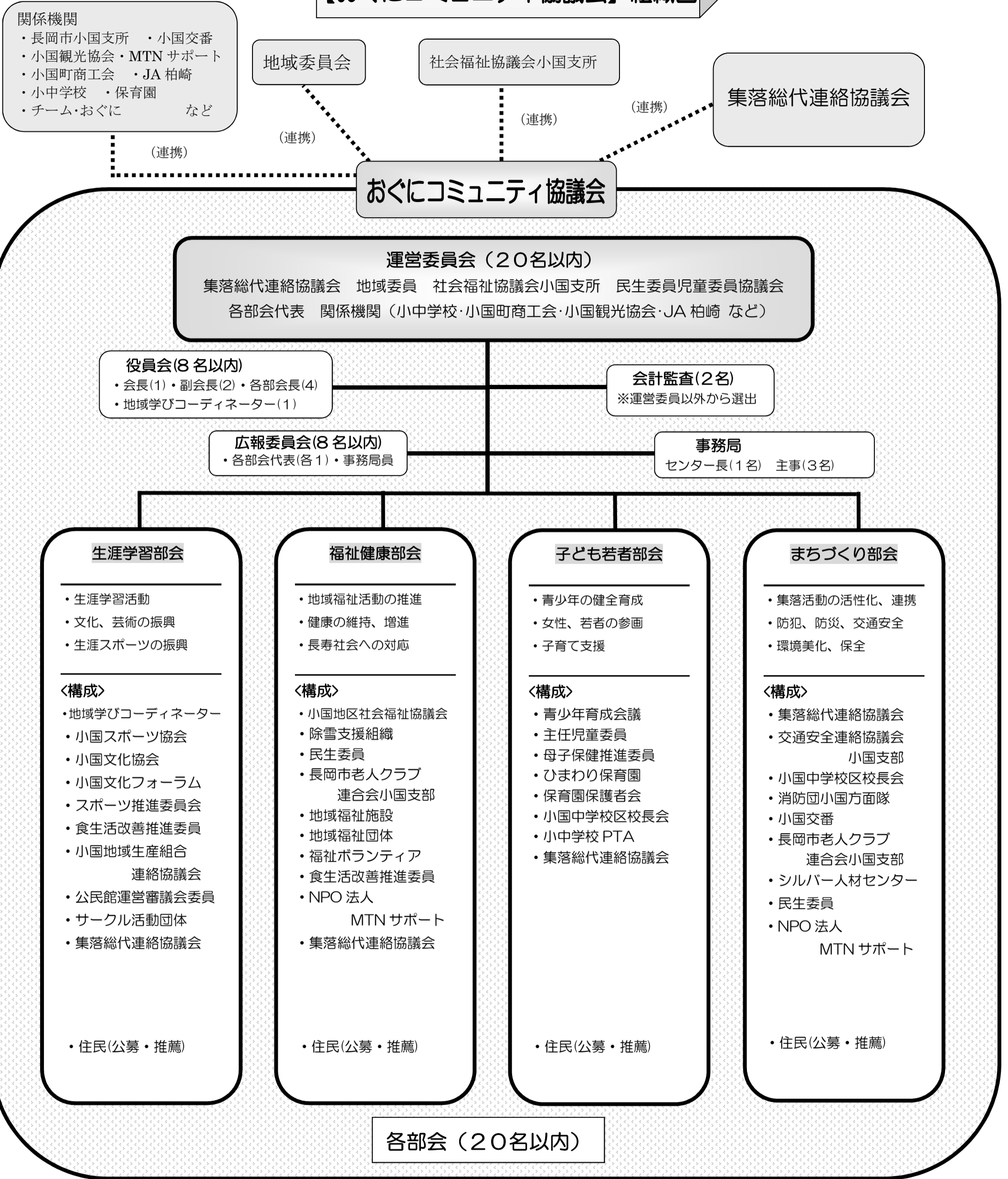


【おぐにコミュニティ協議会】組織図



地域づくり交流会
(おぐにコミュニティ協議会の事業として開催)

- ・小国地域がもっと住みよい地域になるよう夢を語ってもらう場
- ・小国地域住民・地域活動団体等、地域の誰もが参加できる場
- ・情報交換や連携事業実現に向けて、全体で話し合う場

背景

少子高齢化、人間関係の希薄化、環境問題など地域社会が大きく変貌し、個人だけでは処理できない問題が多くなってきている。そうした課題を解決し、よりよい地域をつくるために、住民の自主的、積極的な参加によるコミュニティづくりが求められてきている。

小国地域でも、地域委員会や集落総代連絡協議会などで検討され、平成20年8月に「おぐにコミュニティ検討委員会」を設置し、検討を進めてきた。平成22、23年度は小国地域総合センターの検討を行い、平成24年4月に同センターを開設。平成24年3月から、小国地域がもっと住みよい地域になるにはどうしたらよいか、どんなことができるかなど夢を語る「地域づくり交流会」を開催し、地域課題の解決につながる「やりたいこと」が提案され始めた。

このような小国地域の住民、団体等から出された「やりたいこと」を実現するために、「おぐにコミュニティ協議会」を設置することとし、平成25年度「おぐにコミュニティ推進準備委員会」で、地域の実情に応じた組織づくりについて協議することとした。

協議会の目的

本会は、地域住民及び団体が行う自主的かつ主体的な活動を通して、地域住民相互交流と連携を深め、住民一人ひとりが充実した人生を送ることができよう地域課題を解決しながら、住みよい地域社会づくりを推進する。

基本目標

1 生きがいと豊かな心を育むコミュニティづくり 【生涯学習部会】

- ・元気で豊かな人生を送ることができるよう「学びの場」を創る。
- ・伝統文化、芸能の継承支援や自発的で創造的な芸術文化活動の活発化を図る。
- ・地域ぐるみで、スポーツに親しむことができるよう生涯スポーツの振興を図る。

2 優しさと思いやりのあるコミュニティづくり 【福祉健康部会】

- ・高齢者や障がいのある人など誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域福祉活動を推進する。
- ・誰もが健康で心豊かな生活ができるよう健康づくりを推進する。
- ・高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援する。

3 夢をはぐくみ、子どもと若者がいきいきと暮らせるコミュニティづくり 【子ども若者部会】

- ・女性や若者たちが元気に地域活動へ参加できる場を創る。
- ・子どもたちの健やかな成長のため、乳幼児期から思春期までの子育て支援を行う。
- ・青少年の健全育成活動を行う。

4 絆を大切に、安心して暮らせるコミュニティづくり 【まちづくり部会】

- ・現在の集落等を単位とした強い絆や良好な隣近所関係を尊重し、集落等と密接に連携しながら進める。
- ・地域の安全は地域住民で守ることができる地域づくりを行う。
- ・安心して快適に暮らせるよう環境美化、保全活動を行う。

おぐにコミュニティのキャッチフレーズ

集い つながり 助け合い 自分たちの手で創るコミュニティ